

# 代 表 質 問

平成30年3月1日（木）

## 自由民主クラブ代表

16番 青 山 祐 幸 議 員

### 1. 市政執行方針について

- ①今任期最後の予算編成を終え、公約の達成状況とその評価について。
- ②道の駅を中心に観光を新たな成長産業にしていくとのお考えを表明されているが、具体的な構想をお示しいただきたい。
- ③世界最高水準のサイクリング環境の整備を掲げているが、唐突感を禁じ得ない。具体的な構想を伺いたい。
- ④市長の去就に注目が集まっている。6期目に向けて考えがあれば伺いたい。

### 2. 新年度主要事業について

- ①税収の伸びを3.4%みているが、日銀のゼロ金利国債の大量購入などのインフレ政策が実効をあげていない中で、確信はもてるのか伺いたい。また、市税のうち新港関連の税収は何%程度の増を見込んでいるのか。
- ②移住定住対策で多額の予算を組んでいるが、職員のうち市外居住者が47%もいる現状では、市民の理解を得られにくい。強力な対策を求めます。
- ③国保への繰り出しの考え方について。
- ④石狩市合同納骨塚の構想について。

---

## 平和な大地を守る会代表

10番 上 村 賢 議 員

### 1. 市政執行方針について

- ①任期最後の予算編成を終えられて
  - イ. 平成30年度予算は、新規50事業を盛り込み、未来につなぐ予算編成を行ったが、任期最後の予算編成を終えられ、市の施策の成果や今後の展望、課題について市長の考えを伺う。
  - ロ. 課題解決に向け、そして新たな事業を成長させる為にも、舵取り役の責務はさらに重要と思う。来年5月には市長任期満了となる。6期目についての考えを伺う。
- ②成長産業の戦略について
  - イ. 執行方針では、観光を新たな成長産業と確信されている。新たな観光拠点として道の駅も本年4月にはオープンするが、石狩市の観光の発展にはITを活用した戦略も重要と思える。国内外への情報発信も含めて、ITの活用はどのように考えられているのか伺う。

### ③介護人材について

- イ. 厚田・浜益区の社会福祉法人が両区に移住する新規の従業員の確保に要した経費の一部を助成し、人材確保に向けての支援の取り組みを行うが、介護現場での1番の不満要素は賃金とされている。このような現状から、今回の事業で持続的に人材確保が可能と考えられているのか伺う。
- ロ. 介護の仕事に就く人の数は着実に増えている。第4回社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会の資料によれば、平成12年度に約55万人だった介護職員数は、平成25年度には約171万人と3倍以上に増えている。年度ごとにみても介護職員数は右肩上がり増加している。また、介護人材確保地域戦略会議の資料によれば、平成32年度には約206万人になると見込まれている。しかし、介護人材の不足が叫ばれるのは、介護サービスを利用する要介護高齢者の増加スピードが著しく速く、特に団塊の世代が後期高齢者になる平成37年以降の急増は問題視されている。すでに、石狩市においても、厚田・浜益両区以外の市内でも、人材の確保に苦勞をされている事業所も多く、早急に石狩市の課題として対策を早急に行うべきと思うが考えを伺う。

## 2. 新年度の主要事業について

### ①国内・国際交流について

- イ. 姉妹都市と友好都市交流の現状に対する認識と交流の在り方について、市長の見解を伺う。
- ロ. 本年度、恩納村とは5周年、ワニノ市とは25周年を迎え、交流事業がおこなわれる。新年度の交流事業を通して、市長が両市に対して期待されている事を伺う。

### ②オリンピック・パラリンピック合宿誘致とホストタウンについて

- イ. 本年度も継続事業として、日本代表チームの合宿誘致が進められるが、誘致はオリンピック直前合宿誘致を目標に進められているのか。さらに、平成29年度の代表質問でも伺ったが、カナダナショナルチームへの合宿誘致にも、実現に向けてあらゆる方途を駆使して誘致に努めて参りたいとの事だったが、これまでの状況と新年度はどの様な取り組みが行われるか伺う。また、ホストタウンへの登録も目指して平成29年度から活動されているが、現在の状況と新年度の取り組みを伺う。
- ロ. 昨年7月27日～31日、石狩市で全日本代表チームの合宿が行われたが、施設に対しての課題点も指摘されているようですが、課題解決に向けての施設整備は、今後どのように考えられているのか伺う。

## 3. 教育執行方針について

### ①心身の健やかな成長を促す教育について

- イ. 生活習慣と学力向上の関係は、深い関係があると言われている。子供に確かな学力を育むためには食事をしっかりと摂った安定した生活習慣が必要である。学校も家庭やPTAとの連携により、望ましい生活習慣の定着に取り組まれているが、朝食をしっかりと食べ、1日をスタートさせる事が特に重要と思える。早寝早起き朝ごはん運動を取り組み、子供達の朝食環境は改善されているのか伺う。

## ②図書館サービスの充実について

- イ. 図書館の利用促進に向け、アンケートの分析を行い市民に愛される図書館作りを目指している事と思われるが、アンケートを行い図書館が抱える一番の課題はどの様に考えられているのか伺う。
- ロ. 市民の声で交通弱者は、特に冬場の図書館利用が困難で、対策を求める声も聞く。市民が平等に図書館を利用できる仕組み作りをしていかななくてはならないと思うが考えを伺う。

---

## 公明党代表

1 番 加 納 洋 明 議 員

### 1. 新年度予算について

- ① 2018年度予算案が基金を取り崩さずに収支バランスを確保できたことの要因について。
- ② 執行方針の中で健全な財政運営を意識した「未来につなぐ予算」後半では、投資なきところに未来はないとの強い決意とありますが、その意味合いについて伺います。
- ③ 5期20年の市長の思いについて。

### 2. 石狩市防災まちづくり協会について

- ① 新たな組織の設立の目的と効果について。
- ② 救急救命講習をはじめ全ての防災事業等の実施を協会職員で行われるのか、それに伴う資機材についても自前で揃えて行くのか、協会事務所の設置場所はどこになるのか、伺います。

### 3. 大規模災害団員の導入について

- ① 消防団員の現状と今後の考え方について。
- ② 大規模災害団員の導入の見通しについて。
- ③ 重機を扱う専門集団の設立について。

### 4. 住宅用火災警報器の普及推進について

- ① 高齢者を対象に助成制度の導入の考え方について。

### 5. 学校の働き方改革について

- ① 石狩市の現状と今後の具体的な取り組みについて。

### 6. 小学校における新学習指導要領の取り組みについて

- ① 2020年から全面実施される英語授業の導入について。
- ② プログラミング教育の必修化について。
- ③ デジタル教科書の全国の学校への導入方針について。

## 7. 避難所としての学校施設の機能強化について

- ① 2017年度補正予算で示された学校施設の防災・減災対策を強化するための予算であります。今回の補正予算は「学校施設の避難所機能の強化」を柱にしています。特にトイレの洋式化が指摘されています。このような機会を通してまだまだ改修の進んでいない石狩の学校トイレの洋式化への改修に取り組むべきです。

---

日本共産党代表

4番 蜂谷三雄 議員

### 1. 市政執行方針について①

執行方針の冒頭に、もっぱら経済的視点での今日の社会背景を述べているが、今日、国の社会情勢を論じる時に経済活動、社会活動をも束ねる主権や平和、民主主義、人権、地方自治などを含め、国家の土台をなす憲法の理念から接近する必要性を思う。憲法が活かされているかどうか、今日ほどその検証が重要になっていると確信する。ところが一方で、「改憲」問題がメディアで取り上げられない日は無いと言っても過言ではない状況にある。とりわけ9条規定を持つ現憲法は、多くの国民はじめ世界の国々人々へ時代の流れのなかにあっても輝きを増していると思う。これまでも度々表明されてきているが、市長として現憲法の9条を含めた平和条項に対する所見を伺いたい。

### 2. 市政執行方針について②

- ① 新たな成長産業を「観光」と位置づけ、「地方創生事業」として浜益区が有する潜在的かつ多様な地域資源の調査事業について、大いに期待をしている。これまでも議論してきたが、先住民の足跡と文化、江戸時代の運上屋経営からニシン千石場所時代の財と遺産、動植物の特徴ある生息や自然景観、生産物等々浜益区が持っている地域価値を一つの観光パッケージとしてどう押し出していくか伺いたい。
- ② 漁業は今後の地場産業として潜在性を秘めており、ニシンの増養殖技術の確立と放流事業によって本年も好調な水揚げがなされている。地域の生産年齢人口の増加をはかる担い手育成と漁港整備、実効あるトド対策について伺いたい。

### 3. 市政執行方針について③

- ① 国保広域化への対応と保険料について

国民健康保険制度の特徴と広域化による保険料引き上げの延期について伺いたい。

- ② 防災力の強化について

地方財政計画には防災、減災などの事業メニューが用意されているが、それに対応した実施計画について。また、災害対応は市民力の結集が最大のデフェンスという考え方のなかには地域で災害対応にあたるマンパワーの充実も欠かせない視点と考える。消防団員の充足と処遇改善について伺いたい。

## 市民ネットワーク北海道代表

7番 堀 弘 子 議員

### 1. 30年度予算について

「未来につなぐ予算」編成にあつての基本的な考えについて。

### 2. 子ども支援について

- ①子どもたちの周辺環境整備として保護者の安定就労と安定した適正な労働費、住居の確保について。
- ②子育て世帯や若者の生活実態調査について、課題を把握した後の具体的な施策について。
- ③貧困対策のエアポケットになっている乳幼児期の貧困対策について。
- ④調査から課題解決に向けた取り組みを進めるため担当部局を設置する考えについて。

### 3. まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- ①まち・ひと・しごと創生総合戦略として人口減少策（人口流出防止、出生率向上、石狩市への転入）に積極的に取り組んできたが、時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る地域連携について。

### 4. 道の駅オープンについて

- ①自転車活用推進計画策定について。

### 5. 高齢者福祉について

- ①介護の人材確保に向けた具体的な取り組みについて。
- ②介護予防の具体的な取り組みの推進について。
- ③認知症の方を地域で支える考え方について。

### 6. 防災力の強化と災害時の広域協定について

- ①防災まちづくり協会の創設と活動について。
- ②災害時や緊急時における救助工作車、加圧式給水タンク車など広域連携による協定締結について。

### 7. 教育について

- ①厚田の義務教育学校におけるコミュニティスクールの特色を生かした学校運営に期待するもの。
- ②学校図書館の充実事業によって中学校への学校司書の巡回派遣を行うが、充実は図られるのか。
- ③教育行政執行方針でも容易に想像できるが、教師の激務改善と教師が子どもと向き合う時間の確保について。